

平成27年度和歌山県学習到達度調査

結果分析と指導のポイント

中学校 国語

平成28年2月
和歌山県教育委員会

平成27年度 和歌山県学習到達度調査 結果分析と指導のポイント (中学校国語)

文章中から適切な情報を取り出した上で、問われていることを的確に表現することに課題がみられます。

課題がみられた問題	求められる力	関連する問題
中1 4(4)	問われていることを整理し、必要な情報を適切にまとめて書く力	到達度調査 H27 中2 5(1)
中1 4(5) ① ②	情景描写から状況や登場人物の気持ちを読み取る力	全国学調 H27 A 3 三 H27 B 3 二
中2 4(2)	解答となりうる情報から、よりよい答えを吟味する力	全国学調 H27 A 5 一 到達度調査 H26 中1 4(2)
中2 5(2)	文章を最後まで読み、全体の構成をとらえる力	到達度調査 H25 中1 4(2) H26 中2 4(2)

これらの課題を解決していくためには、右の4つのステップについて、丁寧に指導していくことが求められます。

1. 文章を読み解く手がかりをとらえる。
2. 答えるために必要な情報を、文章中から探し出す。
3. 問いに対する答え(考えや意見)をまとめる。
4. まとめた答え(考えや意見)を確かめる。

授業での4つのステップ

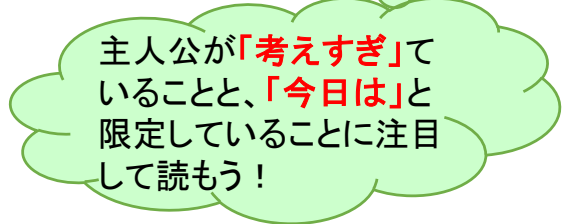
1. 文章を読み解く手がかりをとらえよう！



まずは、発問や設問から、問われていることや答え方を押さえておくことが大切です。設問に線を引いて確認しましょう。



主人公がこのような気持ちになった理由を見つけたらいいのね。



主人公が「考えすぎ」ていることと、「今日は」と限定していることに注目して読もう！

中1 4(4)の設問

文章中、「考えすぎかもしれない。それでも、今日はなぜか気になった。」とありますが、主人公「ぼく」がこのような気持ちになったのはなぜですか。その理由を文章中の言葉を用いて、40字以上、50字以内で書きなさい。(句読点も1字と数える。)

「なぜ」と問われているから、文末に句点をつけて、「～から。」の形で答える必要があるね。



文章中の言葉を用いることと、指定された字数でまとめることに注意だね！

2. 答えるために必要な情報を、文章中から探し出そう！



発問や設問で取り上げられた叙述から、情報を探すための手がかりを見つけることが大切です。段落ごと、場面ごとではなく、文章全体を見渡して探しましょう。

中1 4 (4) の設問の場合

スモール・ステップで考える

与えられた問いをさらに小さな問いに分けて考えると、取り出さなければならない情報が明確になり、探しやすくなります。

- ① 主人公は何を考えすぎているのか
- ② いつもは気にならないのに、どうして「今日は」気になったのか

文章全体から必要な情報を探す



「考えすぎ～なった。」という部分の**前に**、「有里のやつは、大丈夫だろうか。」とあるよ。主人公は有里を心配しているんだね。

有里が保育園のころ、天気の良い日にひっくり返ったことが書かれているわ。どうして**今日に限って**このことを思い出したのかしら。



今日、テレビで熱中症のニュースを聞いて、主人公が不安になったことがわかるよ。

例えば、情景や登場人物の行動を表す描写は、場面の展開や心情を読み解く手がかりになります。

3. 問いに対する答え(考えや意見)をまとめよう！

答えをまとめる際には、特に次の4つの観点に気をつけましょう。

- ① 必要な情報を適切にまとめる。
- ② 問いの条件に当てはまるようにまとめる。
- ③ 主語と述語を対応させ、文法的な間違いに気をつけてまとめる。
- ④ 句読点や符号を適切に用いてまとめる。

この他にも、授業のねらいに応じて、さまざまな観点が設定できます。



中1 4 (4) の設問の場合



必要な情報は、「**熱中症のニュース**」と「**有里が保育園でひっくり返ったこと**」だね。

私は、「**熱中症のニュースを聞き、有里が以前、天気の良い日にひっくり返ったことを思い出したから。**」とまとめてみたわ。これで43字よ。

条件は、**40字以上、50字以内**でまとめることと、「**～から。**」で終わることだったわ。



4. まとめた答え(考えや意見)を確かめよう!

活動例

中2 5 (1)の設問

文章中、「そんなふうを考える人」とありますが、これは、どのような人のことですか。次の [] の文がその答えになるように、 [] に当てはまる言葉を、35字以上、45字以内で書きなさい。(句読点も1字と数える。)

正答例
ニュースはテレビで知ることできるので、新聞なんか読まなくてもテレビを見るほうが楽し早いというふうを考える人。

この設問に対して、次のように答えた人がいます。この答えは、適切でしょうか。



解答例 [テレビを見ればいいじゃないか。そのほうが楽し早いじゃないか。] というふうを考える人。



「ニュースはテレビで知ることできる」という内容が足りていないよ。

解答に「そのほうが」とあるけれど、テレビと何を比べているのか伝わらないよ。



後の言葉に続くようにして、「～な人」とまとめるには、解答を一文にする必要があるよ。最後に句点がついているのもおかしいね。

観点を基にした見直しを習慣づけると、生徒は、自ら文章の推敲ができるようになります。ねらいに応じた観点を明確に示し、指導・評価を行うことが大切です。

読む力を総合的に高めるために

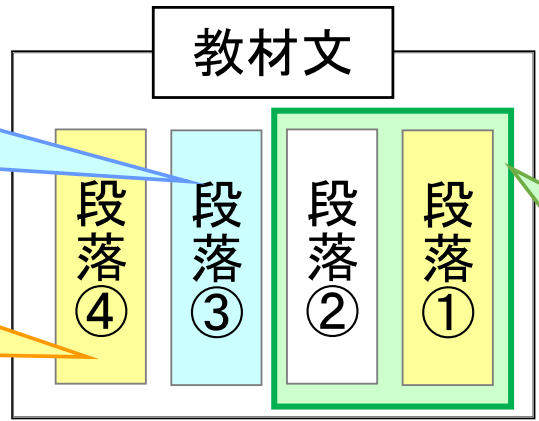


文章を読み解くときには、文章全体を見渡し、例のように内容や表現を比較したり、関連づけたりしながら読みましょう。

例

段落③の行動の描写は、主人公の気持ちの変化を表している。

段落①と段落④で似た意味の言葉が繰り返されている。

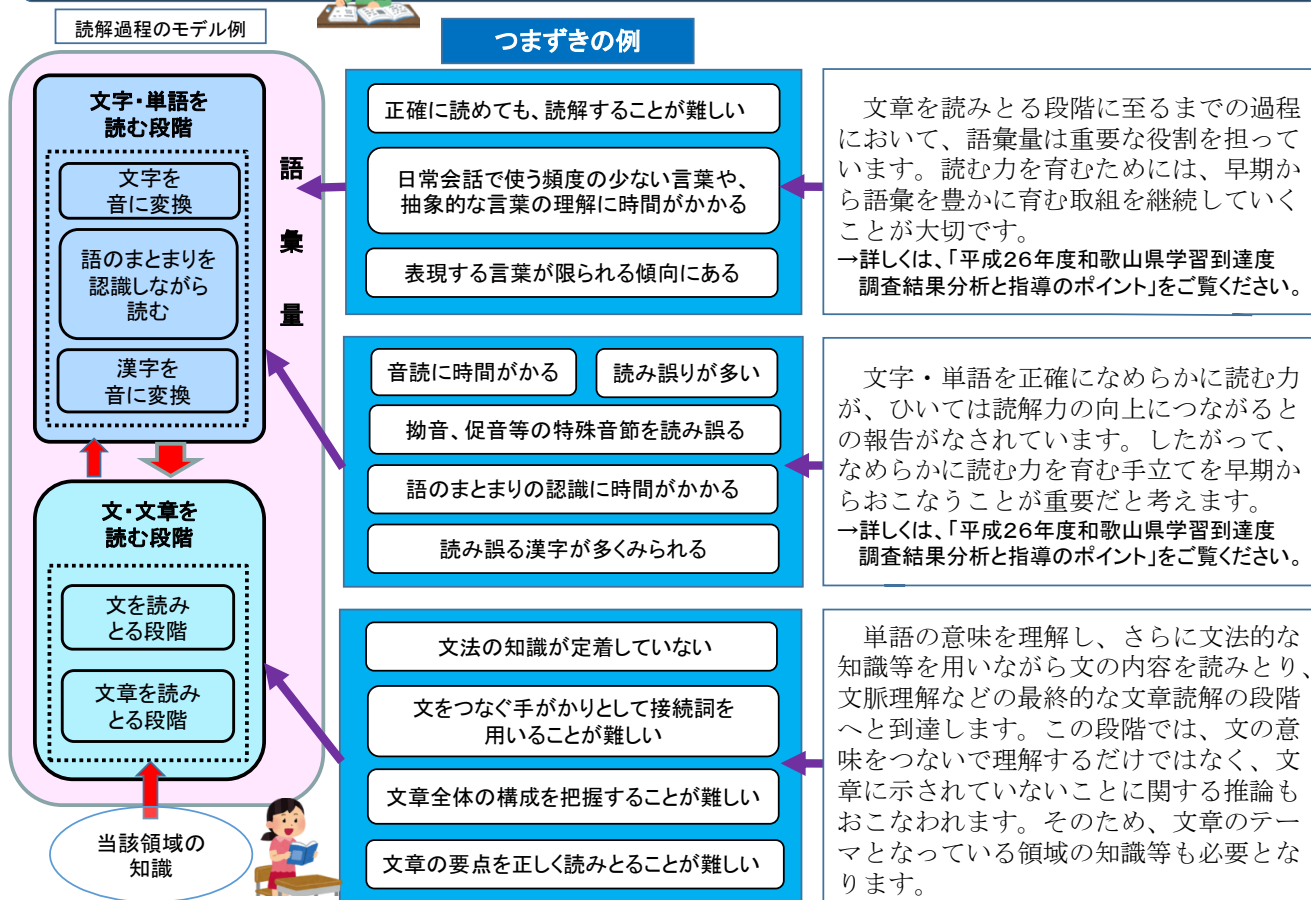


段落①と段落②で一連の出来事が描かれている。

年間を通して読解の方法を繰り返し指導することで、**情報を探し出す力や構成をとらえる力**が身に付きます。授業や定期テスト等で生徒の学習状況を確認、次の指導に役立てていきましょう。

つまずきに対応するために

読む力を伸ばすために ～読解過程のどこでつまずいているのかを把握し、指導・支援につなぐ～



漢字の学習に関する支援例

読解のつまずきの背景には、熟語の難しさが影響している場合もあります。抽象的な意味の熟語は小学校の高学年になるにつれて増えてきます。

具体的な意味の熟語の例	抽象的な意味の熟語の例
外国・台風 工場・空港	分別・苦心 感知・選別



漢字の学習では、

- ・漢字に視覚的イメージ(絵や写真等)を持たせ、読みと結びつけていく
- ・漢字を訓読みして平易な言葉に言い換えをする。

例) 苦心→心をくだき、苦勞すること

など、漢字の読みと意味をあわせた支援を取り入れましょう。

※漢字の音読には語彙力が関わります。生徒が熟語の意味を理解できていることを確認しながら音読の練習を進めましょう。意味を理解できない単語は、語彙としても蓄積されにくいとされています。

※熟語は、生徒が普段からさまざまな場面で目にしたり耳にしたりするものです。学習では、例えば、他教科で同時期に学習している教材の熟語についても、上記のような工夫を取り入れることが有効です。

読解に関する支援例

小説では、「何が起きたか(出来事)」「どんな気持ちか(心情)」「心情が変化した理由」を読みとることが読解のポイントとなります。

登場人物の気持ちを読みとるには、言葉や行動、様子に注目します。しかし、読み手自身が既習知識を十分に理解できていなかったり、持っている知識をうまく活用できなかつたりすると、文中の根拠となる言葉や行動と心情をつなぐことが難しくなります。

読解の難しい子供には、

- ・場面設定を整理する
(「いつ」「だれが」「どうした」)
 - ・心情を表す言葉のリストを作っておく
 - ・動作に表れた心情を視覚化する
- などの支援が考えられます。

【支援例①】心情を表す言葉のリストを作る

○胸を躍らせる (意味……)	喜び・うれしい
○歡喜 (意味……)	
○気をよくする (意味……)	

【支援例②】視覚化する



彼はとぼとぼと歩いていた。

文章を読み取る段階の支援の例

文と文の関係や、段落と段落の関係をつなぎながら読み取ることが難しい場合

【基本文】

ラッコは、どうして海そうを体に巻き付けて眠るのでしょうか。

ラッコが眠る時には、海流に流されてしまう危険性があります。海そうには、波や風を受けてもちぎれることは少ないという特徴があります。ラッコは、それらのことを知っています。

だから、ラッコは、海そうを体に巻き付けて眠るのです。

問い

ラッコは、どうして海そうを体に巻き付けて眠るのでしょうか。

説明

ラッコが眠る時には、海流に流されてしまう危険性があります。海そうには、波や風を受けてもちぎれることは少ないという特徴があります。

答え

海そうが、海流から身を守ってくれることを知っているので、ラッコは、海そうを体に巻き付けて眠るのです。

なるほど。展開を予想しながら読めるよ。

【支援例①】基本文の文章中にある接続詞を外し、文と文の関係をわかりやすくしたものを示すと読解が促されたとの報告がなされています。

ラッコは、どうして海そうを体に巻き付けて眠るのでしょうか。

ラッコが眠る時には、海流に流されてしまう危険性があります。海そうには、波や風を受けてもちぎれることは少ないという特徴があります。

海そうが、海流から身を守ってくれることを知っているので、ラッコは、海そうを体に巻き付けて眠るのです。

【支援例②】左のような支援に加え、上記のように文章の構成を示すと、さらに読解が促進される場合もあると報告されています。



これらの手立てによって、接続詞の役割や文章の構成についての理解も深まると考えられます。

接続詞の役割や文章構成についての理解が深まると、それらを文章全体の意味を読みとる手がかりとして用いることができるようになります。

【参考文献】

小野塚裕子・後藤隆章・小池敏英(2010)
東京学芸大学紀要総合教育科学系 I 61:281-290

